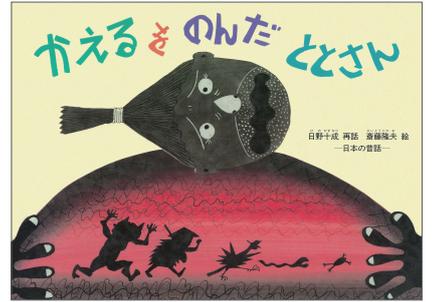




# 「ぼくの わたしの すきな 本」



(出版社: 福音館書店)

こんな本だよ

むかしあるところに、なかのいいととさんとかかさんがすんでいて、ととさんのはらがいたくなつたのでかかさんにきいてみると、おしよさんのところいつてきいてみたら「ととさんそらりやなあ、はらの中に虫がおるせいじゃ。かえるをのむといいぞ」といわれてどんどんへびをのんだりきじをのんだりりようしをのんだりする本です。

この本のこころがすき！

ととさんがかえるをのんだり 虫をのんだり 日本じんがあまりたべないものをたべているところがすきです。

さいごにおにをのんで おにのつのがささっていやだったからおしよさまにきいてみると、おしよさまが「ととさん口をあけてみなされ」といって、ととさんが口をあけたらせつづんのみめをいれたのではらの中のおにがいっぱいまめがふってきたからととさんのしりのあなからとび出てきたことがおもしろかったのですきです。

本の名前 なまえ

かえるをのんだととさん

本を書いた人

日野 ひの 十成 かずなり (再話) さいわ / 斎藤 さいとう 隆夫 たかお (絵) え

おなかがいたくなつたととさん。いろいろなものをの飲みこんでいくよ。ととさんのおなかの痛みは いた 解決 かいけつ するのかな。 つづ 続き き が気になるね。

